



LAYANG LAYANG

1-2月の出来事

帯広市とケダ州がハラルの地域ブランド食品を通して企業振興



帯広市商工会議所はケダ州開発公社と協同で、地域ブランドを通じた産業活性化を図り、双方の企業振興を目指しています。その中から、(株)とかち製菓は、ケダ州の企業と協力し、ハラル大福の販売を開始します。

2月14日、ケダ州で開かれたフードバレーとかちセミナー

「フードバレーとかちを通じた地域ブランドとハラル対応による産業活性化および中小企業振興プロジェクト」 期間: 2016年1月～2019年1月 マ側協力機関: ケダ州開発公社

無収水(漏水や盗水による収益とならない水)をなくすために・・・



無収水削減対策研修 修了式



日系企業による漏水補修機器の説明

東京水道サービス(株)がペナン水道公社向けに、無収水対策の指導者養成研修を実施し、その後公社により全国の水道事業体向けに無収水削減技術研修が行われました。

「マレーシアにおける無収水削減技術研修・能力向上プロジェクト」 協力期間: 2014年1月～2016年11月 マレーシア側協力機関: ペナン水道公社

海での犯罪捜査や搜索救助能力強化

日本の海上保安庁と協力し、マレーシア海上法令執行庁(MMEA)の職員を対象に、潜水、搜索救助指揮の研修を実施しました。マレーシアでは、海賊、密漁・密輸、密入国、海難事故等が多く発生しており、海中での搜索・捜査ができる人材や海での搜索救助活動を指揮できる人材が必要とされています。



MMEAの研修施設での潜水研修

「海上実務能力及び教育訓練制度向上プロジェクト」 協力期間: 2013年7月～2017年3月 マレーシア側実施機関: 海上法令執行庁

マレーシアとの南南協力を通じたパートナーシップ推進を確認



2月25日に開催された年次協議

マレーシア外務省、JICAマレーシア事務所、在マレーシア日本大使館が参加し、南南協力事業*についての年次協議を行いました。この会議は両者の協力関係を再確認し、今後の計画を話し合うもので、2008年以降、毎年開催されています。会議では、昨年の業績及び今年の計画を確認するとともに、今後の事業計画のアイデアについて幅広い意見交換を行うことができました。

*南南協力とは開発途上国が別の途上国を支援するもので、JICAがマレーシアと共同で費用負担し、他の途上国を支援する事業です。

その他

- 青年海外協力隊50周年、記念セレモニーを実施しました（1月11日）

<http://www.jica.go.jp/malaysia/office/information/event/160115.html>

「共に歩んだ50年を多くのボランティア経験者とともに—マレーシアで青年海外協力隊50周年記念式典」

- マレーシア人研修生が日本の自動車メーカーで電気自動車技術について学びました

http://www.jica.go.jp/topics/2015/201601015_01.html

「日本のエコカー技術をマレーシアに—技術訓練校教員が自動車メーカーで研修」

お知らせ

- マレーシア日本国際工科院（MJIT）第2回就職フェアの開催（主催：MJIT）

- ・日時：2016年4月14日（木）、21日（木） 11:00~18:00

- ・会場：Dewan Tan Sri Ainuddin Wahid, UTM KL Campus

Jalan Sultan Yahya Petra (旧Jalan Semarak), 54100 Kuala Lumpur

- ・対象学生：MJIT4年生131人（電子システム工学科74人、機械精密工学科57人）をはじめ、他の学部、大学院の学生に広く参加を呼びかけます。

- ・問い合わせ先：山田盛（JICA 専門家、E-mail：yamadasakaea@gmail.com、電話：03-2203-1280）

- 13thMIHAS マレーシアの国際ハラル専門見本市（主催：Malaysia External Trade Development Corporation）

- ・日程：2016年3月30日（水）~4月2日（土）

- ・会場：KLCCコンベンションセンター

ケダ州のブースに先述のフードバレーとちかも出展 <http://www.mihhas.com.my/>

マレーシアの廃棄物管理

3月2～3日、JICAマレーシア事務所では地元メディアを招待し、廃棄物管理をテーマにJICAの活動をマレーシアの方々に知っていただくためのメディアツアーを開催しました。マレーシアでは昨年9月から家庭ごみの分別回収が始まったことや焼却場をクアラルンプールに建設する計画が発表されたこともあり、メディアツアーには25名14社が参加され、3月20日現在、13の記事が掲載されました。改めて廃棄物管理への注目度の高さを認識した次第です。

JICAのこれまでの廃棄物管理への支援を簡単にまとめると1986年の専門家派遣に始まり、廃棄物管理のマスタープラン作成や処分場のガイドライン作成など廃棄物管理の基礎の構築から、リサイクルや廃棄物の減量対策を経て現在ではボランティアによる環境教育支援や、日本の地方自治体による協力への支援へと移り変わっています。足かけ30年の協力の歴史になります。

最初私がマレーシアに来て感じたことは町中にごみが散乱していないことでした。クアラルンプールの町中を見渡すと高層ビル等、途上国を卒業したような景観が広がりますが、その中で、地味ですが町中にごみが散乱していないことはこの国の優れた点だと思います。このような姿に日本が少なからず協力してきたことをマレーシアを訪れる皆様には誇りに思っていたいただければと思います。一方、クアラルンプールを離れ地方都市を訪れるとまだまだごみが散見されるなど、協力の余地は残されています。これら地方都市と日本の都市とが連携してごみ問題に対処する橋渡しをこれからも行ってゆければと思います。(JICA マレーシア事務所次長 深澤晋作)



←リサイクル品回収
現場での取材

フレーザーヒルの
コンポストセンターにて
→



JICAマレーシア及びニュースレターのバックナンバーはこちら→ <http://www.jica.go.jp/malaysia/index.html>

JICAホームページはこちらから→ <http://www.jica.go.jp/>

配信(追加、停止等)に関するご希望、ご意見、ご要望など → ms_oso_rep@jica.go.jp

JICA Malaysia Office Level 29, Menara Citibank, 165 Jalan Ampang 50450 Kuala Lumpur Malaysia
Tel: 603-2166 8900 Fax:603-2166 5900 E mail address : ms_oso_rep@jica.go.jp